

おおいた豊後大野ジオパークの推進に携わる皆さん

～令和6年12月18日(水)訪問～ 【豊後大野市】



おおいた豊後大野ジオパークは、約9万年前の阿蘇火山の巨大火砕流がもたらした独特な自然景観と磨崖仏や石橋といった豊かな文化が評価され、平成25年に日本ジオパークに認定されています。

おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会は、小中学校におけるジオパークの学習やイベントの開催、県内外ジオパークとの教育交流事業などを通じて、ジオパークの理念の普及や郷土愛の醸成等に取り組んでいます。

また、おおいた豊後大野ジオパークガイドは、ジオパークの理念に賛同した地域にお住まいの方々等が養成講座を受講して認定されるもので、これまで130名が認定され、現在では約50名が観光客の案内や清掃等の保全活動に尽力されています。

懇談では、日本ジオパークに認定されて以来、令和7年度に3回目の更新を迎えるおおいた豊後大野ジオパークの概要やこれまでの取組についてお聞きしたほか、電動自転車を活用したサイクリングツアー等の新たな活動への取組もお聞きしました。また、懇談後には令和3年に整備された「豊後大野市資料館ジオパークミュージアム」を見学させていただきました。

県内に2か所しかない貴重な地域資源であるジオパークの活用について、これからも官民一体となって盛り上げていきたいとお伝えしました。



関連分野における県の施策(令和7年度)

◎おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会

☆事業名:おおいたジオパーク推進事業費補助金(ハード、ソフト)

事業概要:(ハード)ジオパークミュージアム表示看板の新設及び劣化したジオパーク歓迎看板や総合案内看板の修繕に必要な経費に対する補助

(ソフト)ジオパーク普及啓発のためのシンポジウムの開催、ジオサイト等を巡るジオツアーの実施とガイド養成講座の開催、ジオパーク普及啓発のためのパンフレット等の作成、地質遺産等の調査研究及び教育学習活動、日本ジオパークネットワークに係る諸経費等に対する補助

予算額:(ハード)200万円(県1/2:100万円、市1/2:100万円)

(ソフト)900万円(県1/2:450万円、協議会1/2:450万円)

【日本ジオパーク】

ジオパークとは、地質学的重要性を有するサイトや景観が、保護・教育・持続可能な開発が一体となった概念によって管理され、一つにまとまったエリアです。

日本ジオパークは、ユネスコ世界ジオパークの基準に沿って、日本ジオパーク委員会が審査・認定を行っており、令和7年1月現在で、48地域が認定されています。

九州では、阿蘇(熊本県)など8地域が認定されており、そのうち大分県では「おおいた豊後大野」と「おおいた姫島」の2地域が対象となっています。